

令和3年11月19日

石巻市議会議長 大 森 秀 一 殿

会 派 名 ニュー石巻

代表者氏名 会長 阿 部 欽一郎

調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

記

- | | |
|---------|--|
| 1 調査者氏名 | 阿部 欽一郎、阿部 久一、奥山 浩幸、高橋 憲悦、
遠藤 宏昭、 楯石 光弘、佐藤 雄一、阿部 浩章、
千葉 正幸、 安倍 太郎、木村 忠良、森山 行輝、
丹野 清 |
| 2 調査期間 | 令和3年11月12日（金） 1日間 |
| 3 調査地 | ①七窪蛇田線（建設部所管）、
②のぞみ野地区（グリーンスローモビリティ、復興政策部所管）、
③一般廃棄物最終処分場（生活環境部所管）、
④大須崎灯台線（雄勝総合支所所管） |
| 4 目的 | 道路及び一般廃棄物最終処分場の整備状況を確認するもの。
また、運用を開始しているグリーンスローモビリティの活用状況等を
視察するもの。 |

5 調査概要・所感・調査による石巻市への政策提言等

①七窪蛇田線道路新設工事について

○ 調査概要

七窪蛇田線の新設計画は、昭和41年3月2日に都市計画決定がなされてから、平成26年に工事着工がなされるまで48年もの月日を要しました。工事の着工が確実視されたのは、庁舎が駅前移転と東日本大震災被害による市立病院の移転新設、南北間の交通体系の利便性の確保があげられる。現在の進捗状況は、鉄道を横断する橋台を乗せる橋脚6本が完成し、橋脚を送り出す仮設機械が設置されていた。橋脚設置工事は、令和4年4～5月頃から開始し9月に完了し、全体工事の完成は令和6年3月としている。また、進捗率は令和3年3月現在39%でありました。

○ 所感

旧市以来から発展を大きく阻害してきた要因は、鉄道で南北に分断され中心市街地へのアクセス性の向上により円滑な交通の確保を図るため、また、災害時における避難道路・緊急道路としての役割をもち防災上も重要な路線である。市民の安全・安心を守るため全線の供用開始を急がなければならない。



②グリーンスローモビリティ（のぞみ野地区）

○ 調査概要

この事業は、本市が2020年に「SDGs未来都市」に選ばれ、支え合いで築き上げる持続可能な地域づくりを目指すため令和3年3月から無料の電動カートの運行に取り組んでいる事業である。また、同地区では、現在運転手の確保のためカーシェアリング協会と連携し、運転できない方は協会に連絡しボランティア運転手の確保に努めている。1台の電動カートを設置するのに、カート1台200万円・充電設備800万円の費用が必要である。利用形態は、あゆみ野駅までの送迎、買い物・金融機関への定期便、集会所への送迎、近所へのお出かけ等に利用できる。定期便は、第1・3水曜日と第2・4日曜日と毎月15日に行っている。

○ 所感

自治会長のお話によると、一番困っていることは、運転手を手伝ってくれる後継者ボランティアがないことで、後継者の育成が一番取り組まなければ問題として頭を痛めていると言う。この問題は、高齢化が進む他団地も抱える一番の問題で有ると思う。行政として、地域コミュニティの再生に本腰で取り組まなければならないと強く感じました。



③一般廃棄物最終処分場整備

○ 調査概要

事業概要は、総事業費は埋立地建設・浸水処理施設等建設併せて87億1200万円で埋立地面積1,88ha(石巻市民野球場の約1.5倍)を要します。現在の進捗状況は、既設処分場から入る管理道路の路床分が完成している。今日の視察目的は火薬による地山の爆破であります。5mの深さの穴に50kgの火薬を入れ爆破させました。その瞬間はドンと言う音と共に土砂が盛り上りました。これまでもこの様な規模の爆破を繰り返し行い、現在に至ったとの事です。爆破については近くに民家無く影響はないとのことでした。令和2年11月から着工し、令和4年2月の完成を目指し工事を進めている状況である。

○ 所感

火薬による爆破は、何十年ぶりで見学ができました。これからも事故が無いことを祈ります。最終処分場は完成後15年で埋立て期間が終了します。埋立て期間を延命するためには、一般ゴミ・産業ゴミ共に減量化を図らなければならない。そのためには、災害のない強靱なまちづくりとゴミの徹底した分別減量化、そして最終的には有料化も検討しなければならない必要性が生ずる時が近い将来に来る事を考えておかねばならないと思う。



④大須崎灯台線道路改良

○ 所感

大須崎灯台の歴史は、大須漁港周辺の海難事故を防ぐ目的で1943（昭和24年）に建設され、地域住民を見守ってきた。2018（平成30年）には海と灯台PROJECTの中で宮城県内初めて「恋する灯台」に認定された。その後、地域住民の要望活動により2021年、用地費1,270万円、工事費2億1000万円で、灯台にアクセスする道路と駐車場、トイレが整備されている。

○ 所感

道路はきれい舗装され、駐車場も整備されていた。灯台までの通路もタイル張りで中央にはトイレも設置されていた。問題として思ったことは、恋する灯台までの誘導看板の設置（釜谷トンネル出口から、道の駅「硯上の丘おがつ」から大須方灯台へ）、また、駐車場に着いた時に灯台が見える様な環境整備が必要であると強く感じました。



○ 市への政策提言等

今日の視察で感じた事は、七窪蛇田線・グリーンスローモビリティ・一般廃棄物処分場・大須灯台線道路共に感じた事は、人口減少対策、超高齢化時代に対応した健康寿命の推進と地域コミュニティの再生、徹底したゴミの減量化対策、観光戦略の再構築を早急に着手することを提言致します。

6 調査経費 51,000円